

1 学校の重点目標

- ・ 人権尊重の精神に立ち、心と心が触れ合う中で、一人一人の個性が存分に輝く教育を目指す。
- ・ 自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応する能力を培う教育を目指す。
- ・ 伝統ある教育風土を生かし、「知・徳・体」の調和のとれた全人教育を推進し、国際感覚を身に付け、自立と社会貢献への基礎を育てる教育を目指す。

2 課題と改善策 ※4段階評価 4ねらいを達成 3おおむね達成 2成果より課題が多い 1大いに改善を要する

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
心の教育	1 考え・議論する道徳の授業実践	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校重点目標の意識化と具体化，評価が必要である。 ・ 読書に親しめるよう様々な取組を行い，貸出冊数が伸びた。
	2 人権教育の充実	3.2	
	3 一学校一改革「心のこもったあいさつ」	3.1	
	4 読書指導（質・量）の充実	3.1	
	5 学校生活環境の創造及び維持	3.1	
学習指導	1 授業内容・指導法の改善	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導の充実を図る。効果的な ICT 機器の活用を今後も研修をしていく。 ・ 小中の連携を見越した，can-do リストの作成を推進していく。
	2 個に応じた指導の充実	3.0	
	3 外国語活動・外国語科の充実	3.2	
特別支援教育	1 教育相談の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の支援が必要な児童について教室設営を効果的に行うことができた。 ・ 保護者に対して特別支援教育の理解を広げていく。
	2 一人一人のニーズに応じた特別支援教育	3.1	
生徒指導	1 自己肯定感を高める学年・学級経営	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 率先垂範で容儀指導の充実を図る。 ・ 生徒指導連絡会等で情報を共有し，共通認識をもって関わることができた。今後も Teams のチャットをうまく活用したい。
	2 組織的な対応（いじめ防止を含む）	3.3	
保健指導	1 教科体育の充実・体力づくりの推進	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高学年は，朝の時間を活用して体力づくりの推進に努めた。 ・ 廊下歩行への意識を高める対応策を検討していく。
	2 保健指導（う歯治療率80%以上）	3.0	
	3 食育・給食指導の充実	3.0	
	4 安全指導（危険予知能力の育成）	2.9	
情報教育	1 学習効果を上げる ICT 機器の活用	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の ICT 研修が職員のスキルアップに繋がっている。 ・ 家庭でのルール作成を学年で取り決めた。
	2 情報モラル教育の充実	3.0	
その他	1 地域素材の活用（学校支援ボランティア）	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会2年目だった。委員からの意見を参考にして，よりよい学校づくりを推進していく。 ・ 3月に幼稚園・保育園との連絡会を行い，来年度から交流活動を取り入れていく。 ・ 通知表の二期制について検討し，保護者に周知し，来年度から実施する。
	2 環境教育の取組（エコ日記応募等）	2.8	
	3 学校運営協議会等を通して学校・家庭・地域との連携強化	3.0	
	4 小中連携・幼保小連携の充実	2.7	
	5 服務規律の厳正確保	3.6	
	6 業務の簡素化・効率化を図る業務改善	3.0	

3 次学期に向けての取組

- 学習者主体の授業づくりを目指し職員間での研修に励む。（ICTの活用を含む）
- 月1回の実態調査を基に，児童の状況把握に努める。徒指導事案については，毎週連絡会を設け組織で対応していく。今後も報・連・相を密に行い，早期発見・早期対応に全職員で取り組む。